

楽天の移動図書館についての新聞記事

毎日新聞 2014年5月15日より

楽天が岐阜県と移動図書館

山間部の幼稚園など巡回

インターネット通販大手「楽天」と岐阜県は14日、岐阜市内で専用ワゴン車を使った子ども向けの移動図書館をスタートさせた。楽天が自治体と共同で移動図書館事業をするのは初めて。

ワゴン車には、県立図書館の絵本を中心に子ども向けの書籍約1200冊と、楽天が提供する電子書籍端末約20台などが載せられている。月6日程度、図書館へのアクセスが難しい山間部の幼稚園や児童館などを巡回。返却は2週間後にワゴン車が再訪する際や郵送で送料は楽天が負担する。



初の共同事業

この日、岐阜市の県立図書館前の広場で利用した市立市橋小1年の中風咲耶さん(6)は「2冊借りた。ワゴン車に本がたくさんあってうれしい」と

と笑顔を見せた。

スタートに先立つセレモニーで、楽天の黒坂三重執行役員は「ネットの普及で本離れが進んでいるので、子どもたちに本を読む環境を与えたかった」とあいさつ。県の松川礼子教育長は「豊かな心を育むための読書機会の拡大につながることを期待したい」と述べた。

楽天は2012年12月から、被災地支援の一環として福島県で同様の移動図書館を単独で運営してきた。岐阜県に続き年内に群馬、島根県でも展開する予定。

運行を開始した子ども向け移動図書館の専用ワゴン車

岐阜市で14日